

県民の森だより

2006年11月号
発行:岩手県県民の森
森林ふれあい学習館
(いわてNPOセンター・小岩井農牧共同体)



今月の言葉は、花巻市のKHさんからいただきました。

此岸(このよ)は仕事や勉強など日々の日常生活を精一杯生きる私たちの世界。

黄泉国(よみのくに)はいわゆる死後の世界。

では、彼岸(あのよ)とは？

死後の世界のことではないの？

黄泉の国との違いは？

今までは自分や家族の為に精一杯生きてきた人たちも定年後は、後の世に生きることやその社会のことも考えて生きようになりま

す。 いわば彼岸(あのよ)は「このよ」を卒業し、定年後から黄泉の国に旅立つまでの人生とこの世界のことだそうです。

六十歳になってやっと分かることもあるそうで、人生これだから面白い、という充実感を感じることもありそうです。

県民の森にはサポーターズというボランティアさんたちがいます。みなさんそれぞれ自分の興味のままにいきいきと活動されています。

みなさんは充実した「あのよ」を生きていらっしゃいますか？

好きな歌の歌詞や本の中の心に残る一文にぴったりの景色を、森の中で探してみませんか？

県民の森だよりの表紙では、編集担当あが、歌詞や本の文中からくっ！ときたものを選び、それにぴったりだと思った情景を撮影して掲載していきます。

さあ、あなたなら、この言葉に合わせてどんな写真を撮りますか？

Access アクセス



開館時間 9:00~16:00
 休館日 毎週火曜日
 (ただし、祝祭日の場合は翌日)
 駐車場 第1駐車場 20台
 (身障者、大型用駐車場あり)
 第2駐車場 約50台

岩手県県民の森管理事務所

森林ふれあい学習館
フォレスト

〒028-7302

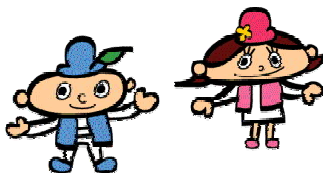
岩手県八幡平市松尾寄木1-515-5

TEL・FAX 0195-78-2092

ホームページが新しくなりました

<http://kenminnomori.com/>

E-mail foresti@mist.ocn.ne.jp



森のチカラ、 森の役割

森はただ木が茂っているだけではありません。私達にとって、とても貴重な、かけがえないものです。今回は、まだまだ多くの可能性を秘めている「森のチカラ」を探ります。

冬になると、森林ふれあい学習館には床暖房が入ることをご存知ですか？
この床暖房は「チップボイラー」という環境に優しいボイラーでエネルギーを生み出して稼働しています。
また、森林ふれあい学習館に使われている木材は全て県産材。
環境に優しい暮らしって？ - 県産材を使うことがなぜ地球に優しいの？
今回の特集では、そんなことを簡単にご説明します。

森林ふれあい学習館は、冬期に入ると全館床暖房が入ります。
この床暖房のエネルギー源は「**チップボイラー**」。
木を細かく砕いた「チップ」というものを燃やして温水をつくり、これを館内の床下に流しているのです。

また、学習館には「**ペレットストーブ**」もあります。
これは、木の皮や木くずなどをぎゅっと円筒形に固めた「ペレット」と呼ばれるものを燃やして暖をとるストーブです。

どちらも、エネルギー源は「木」。石油は使いません。
そしてどちらも、環境に優しいと言われています。

なぜ、石油でなく木を燃やした方が環境に優しいのでしょうか？
ご存知ですか？



チップボイラー
いつでも見学できます！

チップ



ペレットストーブ



ペレット

木は、植えれば何度も使えます！
石油は、「限りある資源」と言われています。このままずっと使っているとなくなってしまうかもしれません。
しかし、木は植えれば増やすことができます。たくさん植えれば、尽きることはないのです。

木は「地球温暖化」の原因とされる二酸化炭素を取り込んでくれます！
小さい頃、理科の時間に習った覚えはありませんか？「植物は、二酸化炭素を吸って酸素を排出しています、私たち人間とは逆なんだよ」と。もちろん木だって燃やすと石油と同じように二酸化炭素が発生します。でも、燃やした分また木を植えれば、その木が成長する過程で、発生した二酸化炭素は使われてなくなってしまうのです。



植樹活動が注目されています

「木の地産地消」という言葉をご存知ですか？
森林ふれあい学習館は、全て岩手県の木を使って建てられています。
近ごろは外国産の木材の方が人気があり、そちらの方が多く使われているのが現状ですが、本当は地元の木を使った方が地球にも優しいのです。



木材を遠くから運ぶとなると、船や車両等を使うわけですから、当然その過程で二酸化炭素が発生します。
また、国産木材の需要が増えれば、木材を生産する（伐採し、運び出し、加工する）仕事が増えて林業地域が活気づきます。

外国産の木材は、規格や品質、品揃えが揃った「商品」として市場に出回っているため人気も高いのですが、ぜひ日本の木材も応援していきたいものです。



林業体験・森林ボランティアの様子





連載

木の人々に会いに・・・

県民の森はいろいろな方に支えられています。今月は、盛岡地方振興局の砂子田さんに突撃！

県民の森には主にどのような形で関わっていらっしゃいますか？

簡単に言うと、県の担当者（笑）

まじめに言うと、県民の森の管理計画、予算執行、財産管理を担当しています。

木の香り漂う森林ふれあい学習館は多くの方に喜ばれています。どのような思いで建設されたのでしょうか？

学習というと堅苦しくなりますが、一人でも多くの方が森林や林業に興味を抱いていただければと思います。

最後に、砂子田さんの県民の森おすすめスポットを教えてください！

やはり「七滝」でしょうか。紅葉の季節だけでなく、四季折々の表情を見せてくれる県民の森を代表するスポットですね。もうひとつ、学習館の「世界遺産映像」はここでしか見られない貴重な映像です。ぜひ皆さんに見ていただきたいですね。

森林ふれあい学習館

平成16年4月にオープンした県民の森の中心施設です。県産材100%の木造建築で木の香りたどよう館内には「体験できる」展示がたくさん！大人から子どもまで楽しみながら森のことを知ることができる建物です。



県民の森で こんなことありました！

県民の森秋まつり

10月22日、心地よい晴天に恵まれたこの日、いつもはひっそり穏やかな県民の森は、人、人、人で覆いつくされました。

県民の森の紅葉の見頃に合わせ開催した「県民の森秋まつり」に加え、共催として「八幡平紅葉ウォーキング」((社)八幡平市観光協会主催)と「フリーマーケット2006」(八幡平温泉郷観光同業者組合主催)も開催されたのです。

なんと森林ふれあい学習館は1日で2,700人を超える入り込みを記録したほどの大変な賑わいでした。

秋まつりでは、木工体験やいわなの塩焼き実演販売、おいしい屋台の出店、また、県民の森で採れたきのこや炭の販売が行われました！



お山の学校第2期の全過程が終了しました。

残すは卒業式のみ・・・。今回も、参加者の皆さん同士で励ましあい楽しみながら、卒業山行の「裏岩手縦走」を登りきりました！



炭焼きをしました！

県民の森で間伐したナラの木を使って、炭焼きをしました。結果、なかなかの出来栄の炭が完成しました！！



募集中！ 県民の森情報会員「自然体験クラブ」会員を募集中です。入会金無料で県民の森の情報が定期的に受け取れます。

熊に注意！ 一人で森を歩くときは、鈴やラジオを持ち歩き、熊に自分の存在を知らせましょう

11月～12月 県民の森 情報板

「10月の木工教室」

木工教室は、毎月1回以上行っている木工センターのメニューです。指導員が丁寧に指導いたしますので、誰でも素敵な作品を仕上げることができます。

「作りたいけど、この日はどうしても都合が悪い・・・」という場合も、お気軽にご相談ください！

【期日・内容】

11月19日 額縁 2000円
11月26日 鉢台 4000円

フォレストアイ クリスマスパティー

日時 12月24日(日) 13時～16時
場所 森林ふれあい学習館「フォレストアイ」
参加費 子ども：300円 大人：500円
内容 「みんなのツリー」点灯式、ゲーム、キャンドルサービス、サンタのお話とソング
「みんなのツリー」の飾りつけお手伝い募集
12月17日(日) 10時から、みんなのツリーの飾り付けを行い、ツリーを完成させます。ぜひ、お手伝いください！



ボランティアスタッフ「県民の森サポーターズ」募集中！
詳細は、森林ふれあい学習館受付窓口(TEL0195-78-2092)まで・・・

リース作り教室

日時 12月10日(日) 10時～14時
参加料 ひとり2000円
持ち物 軍手、昼食
申込み締め切り 12月7日(木)
自然の恵みをふんだんに使ってリース作りを楽しんでみませんか？

急募！ 県民の森スタッフを募集しています。詳細は森林ふれあい学習館受付窓口(TEL0195-78-2092)まで・・・

No.1 トレイル日記

数ある県民の森トレッキングコースを実際に歩いた記録。
このデータを参考に、ぜひ県民の森を歩いてみて！！

Date: _____



しつこいようですが…(笑)
本当にキレイなコシアブラの黄葉



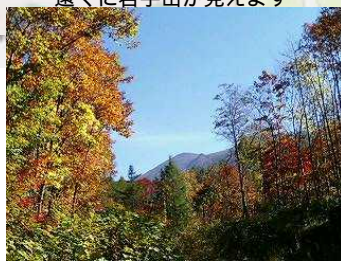
今年はミズナラのどんぐりもたくさん！



秋の七滝はやっぱり最高！



ウメバチソウの花がっ
たあとです



遠くに岩手山が見えます

トレイルデータ 「絶対おすすめ！秋の七滝コース」

距離：
歩く時間：ゆっくり歩いて往復3時間

お疲れ度：らくちん 汗ばむわ～ 疲れたあ…

コメント：紅葉の時期です。この時期のトレッキングと言えば七滝コースははずせません！絶対おすすめの七滝コースをご紹介します。

これ知ってる?? 連載 「冬の花蕨(フノハナワラビ)」

この連載では、森の中で見つけた不思議なものやおもしろいことを紹介します。

紅葉にはまだちょっと早い頃、金色に輝くものを地面から持ち上げる不思議な植物があります。
その名も冬の花蕨(フノハナワラビ)。なんだかとても素敵な名前ではありませんか？

ちょっと気になるこのつぶつぶは、胞子のう。ワラビと同じシダ植物の仲間です。
この胞子のうが、あたかも花が咲き誇っているかのように見えることから、この名前が付いたのだとか。

紅葉が始まると、森は一気に冬へ向かいます。
しだいに“色もの”もなくなりますが、そんな中でこんな花のような目立つものを見つけると、なんだか嬉しくなります。
県民の森はもちろん、全国の野原で見られるものです。
今年はもう終わってしまいましたが、来年、皆さんもちょっと探してみたいはいかがでしょうか。



やさしい木づかい～1本の木のエピソード

毎月ひとつの樹種を、いろんな角度から紹介していくこのコーナー。
第7回は、「カエデ」。

「岩手の紅葉100景」を選ぶとすれば、県民の森と松川渓谷はベストテン入り間違いなし！紅葉の主演といえば、やはりモミジやカエデの仲間たちですね。だれでも手のひら形の葉を思い浮かべることと思いますが、この仲間には、ギザギザの無い3枚葉のもの、1枚葉のものもあり、意外と見分けがつきにくいものです。

そこで、種子に着目してみましよう。モミジの仲間に通ずる特徴として、2個の種子が対になって翼(よく)をもっていることがあげられます。翼は果実の飛翔を助け、種子は母体から離れた遠方に運ばれます。意思を持たないはずの樹木がこうした能力を備えていることは、本当に驚きです。この秋の紅葉狩りは、遠くから眺めるだけでなく、近寄ってつばさに樹木の不思議な能力を確かめてみませんか？

編集後記

県民の森に来て、はや2年ちょっと。今までたくさんの人と、そしてたくさんの森や木のふしぎと出会いました。

この「県民の森だより」もいろいろな人に支えられて発行を持続することができました。編集担当は県民の森を卒業しますが、今まで発行された全ての「県民の森だより」をこれからもいろいろな人が読んで、興味を持ってくれたら嬉しいです。今までご愛読いただき、本当にありがとうございました。